

Agnes

Agnes vol.74 February 2020

平安女学院広報誌 アグネス 発行/学校法人平安女学院 〒602-8013 京都市上京区烏丸通下立売西入 TEL:075-414-8155(法人本部)

- 大学校舎の耐震工事が終了
より安全が向上した校舎へとリニューアル
- 有栖館に本格的茶室「成景庵」が完成
- 創立145周年記念式典を挙行了しました
- 子ども教育学部に中学校英語教諭免許取得課程と
海外留学制度を新設
- 平安女学院大学附属幼稚園が
幼保連携型認定こども園
「平安女学院大学附属こども園」に移行

● 平安女学院校友会会員の皆様へ ●

校友会「DCゴールドカード」は お持ちですか？

年会費永久無料のクレジットカードに、ぜひご加入ください



● ゴールドカード

※加入対象者は20歳以上の会員になります。

ゴールドカードには次のような特典があります。

- ①ゴールドカード年会費通常10,000円が **永久無料**
- ②ポイントをためると素敵な **プレゼントと交換**
- ③ショッピング補償保険に **自動加入**
- ④海外旅行傷害保険(最高5,000万円)に **自動加入**
- ⑤空港で搭乗前後の **ラウンジサービスの利用** など

——— 加入ご希望の方は、校友センターまでご連絡ください。申込書をお送りします。 ———

校友会会員とは？

校友会は、本学院卒業生と教職員を会員の中核とし、平安女学院を愛する多くの方々の力を結集させて、母校発展の支援と会員相互の親睦を図ることを目的としています。会員は以下のとおりです。

- 第1号会員 平安女学院大学・短期大学部・高等学校・中学校および各学校の前身校の卒業生
- 第2号会員 本学院の教職員(但し、第1号会員と重複する者は、第1号会員とする)
- 第3号会員 常任幹事会で推薦を受け、入会を許可された者

校友会会員証カード



● 会員証カード

校友会では、校友会会員証カードを発行しています。
校友会会員の皆様には、会員証により下記の特典をご利用頂けます。

- 特典1 学院独自クレジットカード(DC-VISAゴールドカード)に加入できます。
- 特典2 平安女学院幹旋商品の割引
- 特典3 図書館の利用(平安女学院大学京都キャンパス・高槻キャンパスとも)
- 特典4 食堂の利用(平安女学院大学京都キャンパス・高槻キャンパスとも)

校友会会員証の発行、校友会DCゴールドカードの「申し込み書」を希望の方は下記までご連絡ください。

〒602-8013 京都市上京区烏丸通下立売西入 平安女学院 校友センター
TEL 075-414-8162 kouyukai@heian.ac.jp

理事長トピックス

平安女学院に山岡理事長が就任してから実践してきた経営と教育、魅力的な人間になるための秘訣について話されています。また、達人の神髄（座右の銘）として山岡理事長が大切にされている言葉についても言及されています。日本全国のたくさんの方に平安女学院のことを知っていただく良い機会になりました。

雑誌「Apple Town」に掲載されました

アパグループ制作・発行の情報誌「Apple Town アップルタウン」の「The 達人」のコーナーに山岡理事長が取り上げられ掲載されました。全国のアパホテル（450カ所）の客室約80、000室に配布されます。



例年、予約申込が定員をオーバーして抽選となる為に、多くの方にお断りしております。お申込みいただく際は、ぜひお早めにお申込下さい。

理事長トピックス

研修や留学などを通して、国際感覚とホスピタリティ精神を備えた人材を育成してまいります。

学校法人 平安女学院
理事長・学院長・大学学長

山岡 景一郎



昨年の8月より、大学室町館の耐震補強改修工事を行っていましたが、お陰様で本年3月末には全ての工事が完了しました。

新しい校舎では、国際観光学部 학생들이 御所西の恵まれた環境の中で、京都の歴史や伝統文化を学びながら、観光地の現状について学び「海外フィールドワーク」にも出かけております。

昨年度は「カリブ海クルーズ」を体験し、今年度は「フランス・パリ」にて本物の芸術に触れながら研修を行いました。

子ども教育学部では、ニュージーランドのワイカト大学と協定を結び、奨学金付きの海外留学制度がスタートしており、英語力が活かせる職種への就職にも力を注いでおります。保育科でも奨学金付きの短期海外留学制度を2020年度から採用し、キッズイングリッ

シュへの学びを充実させております。

さらに、中高でも、国際交流を積極的に推進している中で、韓国の慶安女子中学校と姉妹校協定の締結や、オーストラリアのトリニティ・アングリカン・スクールや、姉妹校のセント・ウルスラカレッジにおいて、語学研修や授業参加、ホームステイ体験などを通して、異文化交流、英語コミュニケーション能力の伸長をはかっております。

このようにして、国際感覚に優れ、ホスピタリティ精神にあふれる女子生徒たちが、日々研鑽を積み重ね、大きく社会に羽ばたいてくれることを願っております。

これからも感受性が豊かで、知性と愛のある女性を育成してまいりますので、今後とも深いご理解と、温かいご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

山岡理事長・学院長・大学学長のオピニオン活動

高槻・京都両キャンパスにて
教員免許状更新講習を開講

2019年7月31日～8月22日、2019年度教員免許状更新講習を開講し、延べ800名を超える先生方が受講されました。



高槻キャンパスでは、幼児教育の分野から小・中・高校教員向けの各科目の教育法や生徒指導に関する11講座を開講。京都キャン

リーガロイヤルホテル京都にて
トークサロンが開催されました

1月29日の13時30分より、リーガロイヤルホテル京都で第145回リーガロイヤルトークサロンが開催され、山岡理事長・大学学長がゲスト出演しました。トークサロンは、「山岡景一郎のほぼ正論」世の中の当り前は本当なのか？」をテーマに、武部宏さんの司会で進められました。この中で、山岡理事長・大学学長は、仮想通貨や電子マネーの分野で一挙に「先進国を飛び越える、中国の「カエル跳び」の現状なども例にとりながら、今までの常識がごとく覆される時代の到来に向けて斬新な問題提起を行いました。



学院トピックス



コンセントが配備されたテーブルも用意され、自主学习に活用されるなど、ますます便利になりました。そのほか、学生ホールは学生交流会などのイベントなど広く活用されています。



2018年3月31日、有栖館に茶道裏千家監修による本格的な茶室「成景庵」が完成し、茶室披露と併せて千玄室名誉学院長揮毫の扁額除幕式も行われました。千玄室名誉学院長より、「山岡学長の女子教育への思いが成功するように、

有栖館に本格的茶室「成景庵」が完成



山岡景一郎学長の景と、成功の成の字を取って、成景庵と名付けました」というお言葉をいただきました。茶室の床柱には京都産北山杉の磨き丸太、袖壁には吉野杉を使用。4畳半間と6畳間の2つの茶席があり、可動式の壁を取り除くと約12畳一間の大茶室として大人数での授業も可能となります。にじり口も設けられており、本格的な御点前を体感できる素晴らしい施設となっております。

学院トピックス



京都キャンパス室町館耐震改修工事が完了しました

2018年度に、大学京都キャンパスとして使用している室町館の耐震改修工事を行いました。

この工事に合わせて、校舎外壁タイルのリフォーム、窓サッシの入れ替え、玄関前ロータリーの石畳化、女子トイレの一新、照明のLED化、学生の増加に見合った教室・食堂スペースの拡充、老朽化した机・イスの取り替え、教室のガス空調室外機の全面更新、駐輪場の整備等を実施いたしました。

これで、本学院における全校舎の耐震工事が完了し、学生・生徒の安心安全が向上しました。

学生ホール新設

地下1階に学生の憩いの場である「学生ホール」が新設されました。1階のエディ・カフェとは専用の階段で繋がっていて、行き来も簡単に。ホールは、レンガ調の壁紙に和紙の照明などあたたかみのあるデザインとなっています。壁沿いには



の刊行を記念し、「おもてなしの魔法のちから」と題するトークショーが開催されました。

トークショーは、本学の客員教授で、着付けをご教授いただいている服部和子先生がゲストとして登壇し永田准教授と対談されました。司会進行の役は、レセプションスクラブの山元さんと紙森さんが務めました。開場前から、全席満席となり、通路まで立ち見の人々であふれるほどの盛況ぶりでした。



平安女学院の名所・旧跡

御所の西に位置する平安女学院の敷地には、名所や旧跡が多く残されています。例えば、現在、学院がある場所は「武衛陣町」という地名ですが、ここには昔、室町幕府三管領の筆頭であった斯波氏の館がありました。斯波氏は当主が左兵衛督に命じられたことから兵衛府の唐名「武衛」と呼称されており、その名前が今でも地名として残っています。斯波氏の邸宅の後には、室町幕府13代将軍足利義輝が幕府を置く御所となり、のちには信長が15代将軍足利義昭の

ために築城した「旧二條城」となります。江戸中期には、尾形光琳の支援者でもあった京都銀座方役人・中村内蔵助が広大な屋敷を構えました。また、中学・高等学校の敷地内には菅原道真公の産湯に使われたと伝わる「産湯の井戸」も残されているほか、「聖アグネス教会は、1898年にJ・M・ガーディナーによって建築された貴重な建築物。J・M・ガーディナーは、立教大学の校長でもあり円山公園内にある長楽館の設計者としても知られています。



創立145周年記念式典を 挙行了しました

1月21日、京都キャンパスの平安女学院礼拝堂にて「平安女学院創立145周年記念式典」を挙行了しました。

まず、聖公会京都教区の高地主教の司式による記念礼拝が行われました。続いて行われた創立記念式典では、理事長・学院長・大学学長である山岡景一郎先生から、この一年を通して学院に貢献した教員、学生、生徒を表彰する「アグネス賞」の授賞式が行われました。式典の後には、エディ・カフェにて教職員・受賞者が集まり懇親会が催されました。教職員一同、教育活動に精励し、平安女学院がさらなる発展を遂げるよう、邁進して参ります。

大垣書店にて永田美江子准教授が トークショーを行いました

7月6日、大垣書店京都本店のイベントブースにて永田美江子准教授著『女子力』を活かすホスピタリティ教育

大学の学び

私たちは京都市交通局との連携「きゅんきゅんKYOTO」の作成、まちかどミュージアムのマップづくり、一日学生駅長の活動や京都市中央市場第一市場でのボランティア、祇園祭での大船鉾のち

地域連携と「まちづくり」

ました。2020年度は定員が90名から110名に増え、さらに活気にあふれたキャンパスになると思います。



スが完備されました。情報処理教室のスペース拡大や大教室の設置など、円滑に授業が進められる工夫も凝らされており、より充実した学生生活をおくれるようになり

まき授与のボランティア、京丹波町道の駅での商品開発、大和茶振興を通じた国際交流支援と多くの地域連携をしています。机上の学びを実際の中で体験することによって、観光が地域にどのような役割をつかさどるか、など「まちづくり」の観点から学びを深めています。

夏季休暇中に観光フィールドワークで北海道とパリにいきました

海外フィールドワークでは、フランス・パリを訪れました。ヴェルサイユ宮殿で貴族文化の豪華さを体感し、ルーブル美術館で有名な作品を間近で鑑賞しました。そのほかガイドの方から研修を受けたリ、モンサンミッシェルでは世界文化遺産について学びました。自由時間には街の散策や教会等を訪ね、フランスの生活文化を深く知ることができました。



また、国内フィールドワークでは北海道を訪れました。札幌、小樽、黒松内、洞爺湖と多くの場所での観光と地域について学ぶことができました。特に黒松内町では、北限のブナ林へのトレッキング、地元の方の料理やそば打ち教室、マウンテンバイクや釣り、木工など、多くの貴重な体験をしました。そして最後に地元のホテル側とともにワークショップの場を設け、ゲストとしての目線で見ることの大切さを学びました。持続可能な観光とはどのようなものなのかについて考えるきっかけとなりました。

大学の学び

国際観光学部

今年も目指せ就職決定率100%！
さまざまな分野から期待される人材の育成

本学で1年次から積極的に取り組んでいるジェネリックススキル科目(社会人基礎力)や、観光・語学・ホスピタリティなどの学部の専門的な学びを活かし、今年もさまざまな業種の企業から内定を頂いています。

主な内定先(2019年度)

※2019年8月現在

航空／日本航空(JAL)、全日本空輸(ANA)、ANAエアポートサービス、JALスカイ、JALナビア

運輸／西日本旅客鉄道

ホテル／星野リゾートマネジメント、フォーシーズンズホテル京都

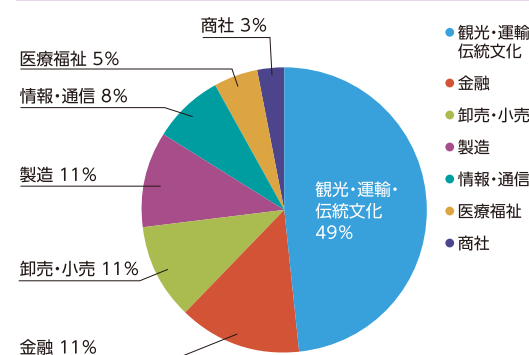
旅行／JTBビジネスネットワーク

伝統文化／裏千家今日庵、表千家不審庵

製造・小売／小林製薬、富士ダイス、たねや、さとう

金融／京都銀行、滋賀中央信用金庫、北河内農業協同組合

2019年度内定企業分野



※グラフの数値は小数点以下四捨五入

地域の素晴らしさを広める取り組み

京都市交通局とともに地下鉄利用の促進や地域活性化に関わる活動を行っています。活動の中心となるのは、地下鉄の駅毎に、駅周辺の見どころ・お店などを学生達の視点で紹介するフリーペーパー「きゅんきゅんKYOTO」の作成です。ジェネリックススキルの授業で、1・2年生が取材・執筆を行っています。また、一日駅長にも学生が選ばれ、地下鉄のポスターにも採用していただきました。

修学旅行ガイドとして、旅行会社等と連携し学生が京都市内を案内しています。

国際観光学部の校舎がリニューアル

2019年度は定員を大幅に超える115名の新生とともに新学期を迎えました。半年に及ぶ耐震工事が終わりました。リニューアルされた校舎になったことも大きなニュースです。学生に人気のエディ・カフェと専用階段で直結した学生ホールが新しく作られ、学生の憩いの場がふえました。また全館フリーWi-Fiも完備され、トイレにはパウダリースペー

大学の学び

2018年度の卒業生は53名で、保育士資格取得者39名（73・6％）、幼稚園教諭免許取得者46名（86・3％）、小学校教諭免許取得者39名（73・6％）でした。保幼小のすべてを取得したのは29名（54・4％）で、例年の7割より若干少なくなりました。就職希望者（進学・アルバイトを除く）は50名で、小学校24％、幼稚園8％、保育所（公立8％、私立8％）16％、こども園14％、児童福祉施設6％、一般企業32％でした。例年に比べて一般企業就職が倍の比率でした。また、こども園の比率があがってきています。公立保育職の募集が減少してきて狭き門になっています。

就職決定率100％継続中

度から本格的に導入される小学校での英語の授業で、英語を教える力のある人材を育成するためです。英語コミュニケーション能力を高める一方で、豊富な英語系の科目群によって幅広い教養に基づいた英語教育力の養成を目指しています。

大学の学び

子ども教育学部

中学校英語教諭免許の取得課程と
海外留学制度が新設されました

海外留学制度と
キッズイングリッシュ研修

国際観光学部で定評のある海外留学制度を、子ども教育学部でも設けました。1年もしくは半年の海外語学研修です。

1年
コース

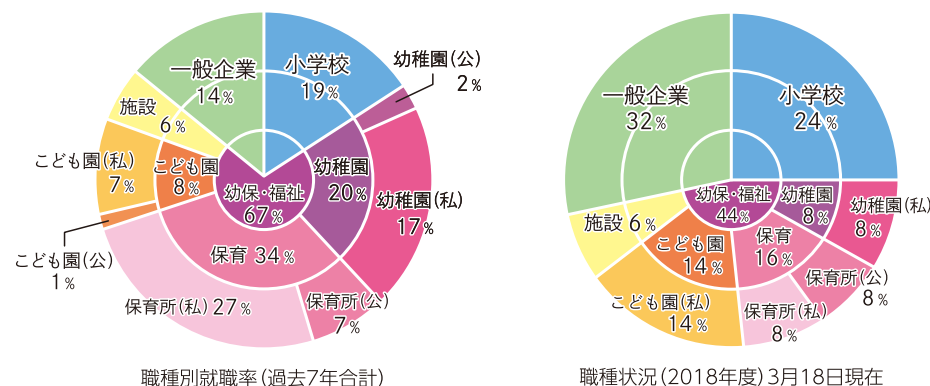
深く英語を学びたいなら
奨学金：約120万円
取得可能
免許・資格 幼稚園／小学校 もしくは
幼稚園／保育士
2免許・資格取得可能

半年
コース

英会話中心の留学なら
奨学金：約60万円
取得可能
免許・資格 幼稚園／小学校／保育士 もしくは
幼稚園／小学校／中学校
3免許・資格取得可能



留学期間中は本学の在学期間と見なします。留学しても4年で卒業できて、教員免許も取得可能です。また、最大120万円の奨学金が支給されます。行き先はいつでもワイカト大学を予定しています。詳細は大学案内をご覧ください。



※グラフの数値は小数点以下四捨五入

毎年恒例、川口基督教会の見学

「キリスト教学」の授業では、毎年、平安女学院発祥の地である旧川口居留地を見学しています。子ども教育学部で



は1月に川口基督教会を見学し、旧川口居留地の歴史を学びます。川口居留地は1868年に開設され、1899年に撤廃されるまで洋館や教会・学校が建ち並んでいましたが、今では倉庫群となっていて、残念ながら、石碑などによってしかその面影を偲ぶことはできません。それでも、こうして本学院の発祥の地を訪れることによって、この地でエディが目指したキリスト教主義の学びの原点に思いを馳せることができ、今現在の学びの大切さを感じることができるようになります。教会に戻って、聞かせていただく重厚なパイプオルガンの演奏が、時空を越えて心に響きます。

2019年4月の入学生から新しいカリキュラムが認められ、子ども教育コースのなかに、英語専修コースを設け、中学校英語教諭の免許が取得できるようになりました。これは、2020年

中学校教諭免許(英語)
取得課程を新設



下さい。
キッズイングリッシュ研修は、2月下旬の日程で実施予定です。



術を身につけることができるよう、習熟度別に細かくグループ分けをおこなっています。課外レッスンは学内で

ピアノ技術の獲得は、本学の保育者養成教育の中でもとくに力を入れており、初心者から上級レベルの学生まで、きめ細やかな指導をおこなっています。特色としては、グレード制、課外レッスン、短期集中講座が挙げられます。グレード制は、ピアノ初心者でも安心して演奏技

音楽教育



シサム工房の兄友子先生による「フェアトレードについて」などのお話をうかがうことができました。



た。また、7月17日には、高槻キャンパス学生会主催の「ドッチビー」大会が開催されました。いずれも保育科1年生チームが優勝し、団結を深めることができました。

学生会によるさまざまなイベントが企画され、学部を超えた学生同士の交流の機会となっています。2019年度は、5月17日に両キャンパス主催の合同運動会が島津アリーナ京都にて開催されました。

学生会活動への参加

機会を提供し、授業の空き時間を有効活用できるようサポートしています。また、後援会からの補助金を活用し、夏休みや春休みにピアノや打楽器の短期集中講座を開催しています。とくに春休みは入学前教育として案内しており、毎年多くの新入生が受講します。

就職支援



保育科では、高槻キャンパスのキャリアサポートと連携しながら、さまざまな就職支援プログラムを展開しています。なかでも保育科独自のキャリアサポートとして、6月4日に京都市幼稚園連盟による幼稚園ガイダンス、7月10日に就職奨学金で提携している株式会社京進のHOPPA保育園による就職説明会が行われました。幼稚園ガイダンスでは夢窓幼稚園、マクリン幼稚園に勤務している卒業生が話に来てくれました。また、HOPPA保育園の就職説明会では活躍している卒業生のビデオレターが用意され、教員にとっても嬉しい機会となりました。

短期大学部 保育科

高槻市との地域交流や保育専門機関との連携など1年間を通して充実した学びに取り組みます

保育科では、2年間で保育の専門家を育成するための学びとともに、大学生活を楽しめるよう、充実したプログラムを用意しています。

ボランティアワーク



例年、地元高槻市で開催されている「こいのぼりフェスタ」や「ジャズストリート」、「高槻まつり」など、さまざまなイベントにボランティアとして参加し、地域の方との交流を深めて



います。今年度は、新しく3月に開園した安満遺跡公園の「こどもふえすていばる」にも参加しました。

受付、ごみの分別、迷子の対応、行列の整理、入場者のカウントなどさまざまな作業のお手伝いや紙コップロケットブースを展開しました。制作指導を通して子どもたちと直接関わることで、保育者としての実践力を身につける貴重な機会となりました。

キリスト教

平安女学院発祥の地である「日本聖公会 川口基督教教会」を6月1日に訪れました。歴史を感じる厳かな建物とパイプオルガンの美しい音色に包まれ、神聖な気持ちでキリスト教についての学びを深め、学院のルーツに触れる機会となりました。

保育専門機関との連携

授業では、それぞれの教員が専門機関との豊富なつながりを活かして多彩なゲストスピーカーを招いています。2019年春学期は、光の園幼稚園の福原由梨先生による「プロジェクト型保育について」、公益社団法人京都市児童館学童連盟事務局主任厚生員の岡崎達也先生による「気になる子どもたちの理解」、元高槻市芝谷中学校校長の上道小太郎先生による「ボーイスカウトにおけるボランティア精神」、公益財団法人生命保険文化センターの松本彩先生による「生活設計とリスク管理」、高槻市保健所保健予防課による「自殺予防ゲートキーパー研修」、



友人との仲も深まる オリエンテーション

4月2～3日にかけて、滋賀県のびわ湖大津プリンスホテルで新入生宿泊オリエンテーションを行いました。

1日目は、学長特別講義から始まり、各学部の学び紹介や学生会による「仲良しプログラム」などで頭と体を動かしながら仲間たちと打ち解け合いました。2日目は各学部に分かれて、教員や他学年の先輩たちと交流を深めるプログラムを行いました。2日間という短い時間ではありましたが、一緒に時間を過ごしプログラムを楽



白熱した戦いを繰り広げた 全学合同運動会

5月17日に、島津アリーナ京都にて今年で9回目となる2019年度全学合同運動会が開催されました。運動会は準備から片付けまで学生たちの手で行われ、自主性や行動力を培う機会に

しむことで、新しい友人や先輩と親睦を深めることができた、意義あるオリエンテーションとなったようです。



もなっています。プログラムは玉入れから始まり、デカパン競争、大縄跳び、パン食い競争、綱引き、選抜リレーといった競技から、運試しゲームや学長先生考案のサイコロを使ったゲームなどの個性的な競技まで、さまざまな競技が用意され各チームが競い合いました。特に盛り上がりを見せたのは、最後の選抜リレー。各チームから選ばれた精鋭たちによる白熱した戦いを参加者全員で応援し、戦いの行く末を見守りました。



平女祭を行いました！

2019年10月27日、京都キャンパスにて「平女祭&京都SeeLフェア」を開催いたしました。

晴天に恵まれたたくさんの方にお越しいただき、大盛況のなかイベントを行うことができました。メインステージでは東映京都撮影所の役者による忍者ショーや、京炎そでふれ！によるパフォーマンスなどが行われました。また、毎年恒例の「ミス平女コンテスト」では、昨年に引き続き、着物でコンテストを開催。壇上に艶やかな着物の学生が並ぶ風景は圧巻でした。

2019年11月2日には、高槻キャンパスにて平女祭が行われました。こちらもち晴れで暖かく過ごしやすい天候の中、小さなお子様からご年配の方まで非常に多くの方にお越しいただきました。チャペルやステージでは、学生による有志の出し物や吹奏楽部による演奏など様々なイベントが行われ、多くの人が観賞していました。模擬店はなんと20店以上も出店し、一部店舗では大行列ができる程の盛況ぶりでした。また、ウィリアムズホールでは毎年恒例の「子どもランド」が開催されました。終日にぎやかな声が絶えず聞こえる活気ある平女祭となりました。



期待と不安に満ちた入学式

4月1日、京都キャンパスのエディホールにて平安女学院大学・平安女学院大学短期大学部2019年度入学式を執り行いました。入学式後は各学部に分かれ、新入生ガイダンスや記念撮影を行いました。学生たちは、これからどんな学生生活が待ち受けているのか、新生活の不安と期待が入り交じった表情を見せていました。



中学校の学び

代祭の見学を行っています。このような伝統的な『祭り』の体験は、京都の中心地にある学校だからこそできることです。地の利を生かしたこのような学びを今後もしっかりと継ぎ、伝統的な場所で学ぶことへの誇りを持てる生徒に育って欲しいと感じました。



を聞くことができました。次は誰が登場するのだろうか、身を乗り出し行列を見る姿は微笑ましかったです。行列の方のお心遣いにより、一緒に写真を撮ることもでき、とても充実した時間となりました。

中学校では、1年生で祇園祭、2年生で時

中学校の学び

中学人権学習会を通して、多様性について学びました

6月13日に人権学習会を行いました。『身近な多様性を考える』というテーマで、中学1〜3年生が縦割り班を編成し、さまざまなアクティビティに取り組みました。



「青い目茶色い目」という人種差別についてのドキュメンタリー番組を鑑賞したあとは、20の班にわかれ、テーマにそって活動を開始。3年生を中心に積極的な意見交換が行われていました。今回の人権学習のメインは、自分の生活の中にある、「これってありなん？」と感じる事柄について考えるということでした。例えば「中学校の出席番号は全て男子が先で、女子が後になっている」というような身近にある問題について話し合っていました。班のメンバーの意見に同意したり、違う視点から話を切り込んだりと、どの班も非常に盛り上がっていました。



学習会後「人はさまざまな考えを持っている、内容によってはそれが完全に一致したり、バラバラになったりしました。テストのように100%正確という答えが無いということが分かりました」という感想がありました。答えが出ないようなことを真剣に考える時間を通して、多様性とは何かを知る、貴重で有意義な人権学習会となりました。

時代祭を見学しました

10月26日、中学2年生は京都三大祭の1つである時代祭の見学を行いました。



初めて時代祭を見た生徒たちからは、「装飾品の美しさに感動しました」「時代祭を初めて見て、その迫力に驚きました」「時代ごとに違いがあり面白かったです」などの声

ビブリオバトルを開催しました

「灯火親しむの秋」、どの季節でも読書は楽しいものですが、やはり秋の夜長はゆっくり本と向き合うのにふさわしい時期です。

中学では、10月10日の午後を使って、「第五回中学ビブリオバトル大会」を開催しました。「ビブリオ」とは、ラテン語で「本」のこと。自分がみんなに紹介したい本を持って、それについて熱く語り、質

今回の入賞者紹介

優勝 J311 大島華凛
『吟遊詩人ビートルの物語』

Q／『吟遊詩人』に本を読みますか？
A／やっぱりよく読むのは、電車の中でも、顔に出してしまうので、電車の中で読むのは向いていないかもしれません。

二位 J211 安達侑利
『死刑執行人の苦悩』

Q／『副賞の図書カード』は何に使用しますか？
A／『風と共に去りぬ』を全巻読みたいと思います。

三位 J212 山田莉子
『記憶喪失の君と、君だけを忘れてしまった僕。』

Q／読書のどのところが好きですか？
A／本の世界に入り込んで、主人公の気持ちを考えながら読みすすめていくところが好きです。

疑問答を受けけます。

この活動の特徴は、全員のプレゼンテーションが終了した時点で、聴衆（今回の場合では、約150名の中学生全員と教員）が、「どの本を読みたくなったか」を基準に、投票を行うという点です。投票後時を移さず、開票し、3位まで表彰（副賞として図書カードも贈呈）するためライブ感があり、まさに「バトル」にふさわしい熱い戦いが繰り広げられます。

また、今回は開票作業中に、英語科の山中先生と数学科の佐々木先生が、それぞれイチオシの本を紹介しました。生徒の皆さんにとって知的な刺激に満ちた秋の午後の時間になりました。



高等学校の学び

昨年度より、APU研修も内容が新しくなりました。希望生徒は8月に別府市のAPUに行き、オープンキャンパスに参加するほか、学生寮への宿泊、APU施設の見学などを高大連携として行っています。そのほか、高校3年生向けの入学前教育の一環として、附属校、提携校合同の語学研修、ダブリンシティユニバーシティ(DCU)、カナダブリティッシュコロンビア大学(UBC)にも参加。来年も1月に8名が、DCUに飛び立つ予定です。



ター、立命館アジア太平洋大学(以下、APU)のアドミッションオフィスが大学説明を、また立命館大学キャリアセンターがキャリアガイダンスを実施しています。

高等学校の学び

アグネス国際進学コース
「なりたいたい自分」を目指して
さまざまな取り組みを
行っています

アグネス国際進学コースは自由な進路選択ができるコースです。だからこそ将来の展望を持つことがとても大切であり、将来「なりたいたい自分」になるためにさまざまな取り組みを行っています。今年度も1・2年生はオープンキャンパスへの積極的な参加や、大阪で開かれる夢ナビライブに参加することで、さまざまな大学の教授による最新の研究に触れ、高等学校での学習の延長上にある知識への興味を持ちました。さらに本校に企業を招いての職業説明会や卒業生による講演会などを通して、大学の先にある世界を知ることによって「なりたいたい自分」を発見していきます。アグネス国際進学コースでは、このような直接話を聞く、触れるという体験から心が揺さぶられる感覚を大事にしています。現在は「なりたいたい自分」を見つけた高校3年生が、内部推薦、指定校推薦、AO入試、公募推薦、一般人試など、

自分の目標に合った入試制度を活用し、「なりたいたい自分」へのスタートとなる進路実現に向けて走り出しています。



立命館コース
多数の連携企画によって
支えられています

2008年度入学生から設置された立命館コースも、本年は中学・高校生を合わせて280名の大所帯となりました。設置当初より、立命館大学との連携は密であり、ニーズに合わせて企画の形は少しずつ変わりながら綿々と続いています。

また、今年度は新企画として立命館グローバル・イノベーション研究機構と協働して「ライスボールセミナー」を行い、理系女性研究者の最先端の研究を90人近い生徒が昼休みににぎりを食べながら聴講しました。多くの連携企画が生徒の成長の支えとなっています。



幼児教育進学コース
充実した進路ガイダンス

幼児教育進学コース全学年を対象に2

高校2・3年生は、高大連携授業が週2時間あります。本校から進学者の多い文学部・経営学部・経済学部から先生が来られて、高校生向けの模擬授業を行っていただいております。例えば、高校2年生は毎年オーストラリア語学研修前に、文学部コミュニケーション学域の先生から「World English」をテーマに英語の多様性の授業を受けています。本年は4時間かけて、学び、調べ、グループ毎のポスタープレゼンテーションをしました。

高校3年生の希望者は文学部アカデミックプログラムに参加しています。このプログラムは本来、協定校のみが受講できるものですが、文学部と本校の長い連携の実績から参加のお話をいただきました。進学に向けて真剣に受講する他校の生徒と机を並べることで、本校生徒も刺激を受け、齟齬なく学部・学科を選定していくことができています。

さらに、立命館大学に進学することを目的とするのではなく、高校、大学そしてその先にあるキャリアを形成するためレクチャーとして、高校3年間のそれぞれの適切な時期に立命館大学入学セン

回、2・3年生にそれぞれ1回ずつ、1学期に進路ガイダンスを行いました。1回目は5月9日、現在保育の現場で働いている卒業生を招き実習の話を聞きました。積極的に質問をする生徒もいて、実習で役に立つことが多くありました。2回目は6月22日、本校の幼児教育進学コース一期生の先輩方による貴重な話に生徒たちは熱心に聞き入っていました。



また、7月11日に2年生を対象にした平安女学院大学の先生方によるガイダンスを行い、短期大学部保育科金子先生と子ども教育学部谷口先生からお話を伺うことができました。それぞれが、将来進むべき道について、自分たちの考えを深める貴重な時間となりました。



食文化の実情と健康問題」といったようなテーマ設定をそれぞれが持ち、単なる語学研修にとどまらない留学計画を立てて参加します。

このプログラムは2014年からスタートした国と民間企業が協働で取り組む海外留学支援制度であり、このプログラムに採用された生徒は奨学金をもらい、軽い負担で留学する事ができます。この生徒たちは、産業界を中心に社会で求められる人材、世界で、又は世界を視野に入れて活躍できる人材として成長する事を期待された学生たちであり、さらに、帰国後は海外体験の魅力伝えるエヴァンジェリスト（伝道師）として日本全体の留学機運を高めることに貢献することが期待されています。

9月6日と7日の2日間、文化祭を開催しました。

今年の文化祭で中学は「みんなちがってみんないいーWe are all different but beautiful」をスローガンに多様性の学びをテーマとしました。

1日目の午前は演劇コンクールでした。3学年全クラスが力のこもった作品を披露しました。

文化祭を開催しました

このように中学校・高等学校では姉妹校交流や留学制度などを利用することで、グローバルな社会で活躍する人材を目指し、新たな環境に挑戦する生徒が増えています。

今年も海外へと生徒が飛び立ちました

留学先の単位を帰国後に認定することで休学・留年をせずとも1年間の海外留学ができる制度です。今年度は6月に1名がアメリカから留学を終えて帰国し、9月より2名がアメリカとフランスに出発しました。

脚本、監督、キャストの選出、音響や舞台道具の製作、さらにアグネスホールに飾られる「まねき」の製作まで、全てクラス単位。夏休み前から準備や練習を重ね、担任と共に生徒たちは懸命に本番の上演を目指しました。長い時間をかけた取り組みを通じて、生徒同士のつながり、クラス全体の団結やまとまりが自然と強くなっています。

特に今年は、多数の賞を中学3年1組の「Rapunzel」が受賞するなど、中学生の枠を超えた非常に優秀な作品も生まれました。素晴らしい作品を目にした後輩たちは、また次年度の文化祭でさらなる活躍をしてくれることでしょう。

午後は「生徒会有志企画」として生徒会本部が企画したイベントを実施しました。多様性をテーマにしたクイズをはじめ、イントロクイズやジェスチャーゲーム、スプレーリレー等を行いました。最後はステージでダンスパフォーマンスが披露し、会場は生徒たちの笑顔と歓声に包まれ、大いに盛り上がりました。



オーストラリアのウルスラ校との交流を今年も行いました



2013年から姉妹校交流を続けているオーストラリアのウルスラ校との交流を今年も行いました。2019年は本校から19名の生徒が7月18日から

8月1日の日程でウルスラ校に訪問しました。10日間ホームステイを体験し、オーストラリアの生活に触れ、ウルスラ校では授業への参加と日本文化の紹介を行いました。ウルスラ校の生徒やホストファミリーとの交流において、積極的に行動すれば拙い英語でも伝えることができ、自信が持てた生徒達はいく前とは違う自分に会えることができました。また、移動距離が非常に長く日本とオーストラリアの気候の違いだけでなく、オーストラリア内での移動においても変化を肌で感じる事ができ、世界の広さを実感することができました。

また、昨年度には台湾の崇光女子中学校、2019年度には韓国の慶安女子中学校と姉妹校の協定を締結しました。5月28日には、慶安女子中学校の

トビタテ留学JAPANに 今年は3名の生徒が参加

トビタテ留学JAPAN日本代表プログラムに約4倍の審査の中、昨年に続き今年も3名の生徒が選ばれ、海外留学することになりました。留学生徒たちは、「オーストラリアの移民政策と実情」「アメリカポートランドの地域振興政策」と日本の地域振興の未来」「イギリスの



生徒24名が来校し、授業も含め本校生徒と交流しました。日程上残念ながら1日だけのショートステイとなりましたが、お互いの文化を学ぶ良い機会となりました。

こども園だより

こども園の定員は、0歳児（つぼみ組）6名、1歳児（たんぽぽ組）12名、2歳児（ちゅうりっぷ組）12名、3歳児（もも組）35名、4歳児（はら組）35名、5歳児（ゆり組）35名、合計135名となり、幼稚園の時より40名増えました。進級した在園児に加わり、開園の時より地域の方が入園され、定員を超える園児が毎日元気に遊んでいます。開園時間は7時半から

新しい園児も加わり益々にぎやかに！

れてこども園が成り立っていることを強く感じ、これからの歩みを子どもたちのための確かなものとして、一歩一歩進めていきたいと思っています。



あたたかい祝辞をいただき、その後交わりの時をもちました。また園舎内も皆様に見ていただきまして、開園式を通して、皆様と多くの方に支えら



19時となり、1号・2号・3号認定と子どもが受けた認定区分により、教育・保育を受けられる施設となりました。昨年度から在籍する園児にとって乳児が園内にいることはとても新鮮な様子で、散歩に出てきた乳児と園庭で出会うと、「赤ちゃんがきたー」と喜び、顔を覗き込んだり、ベビーカーを押すのを手伝ったり、そつとなぜたりしながら触れ合っています。



給食も新しく始まりました

こども園になって新しく始まったことの一つに、給食があります。園舎2階にできた厨房では工夫された献立の給食が毎日作られ、子どもたちは「今日の給食はなにかな？」と楽しみに待ち、美味しくいただいています。毎日の食事を大切にして、心と身体が健やかに成長することを願っています。

こども園だより

認定こども園が開園



期間となりました。新しく生まれ変わった園舎には、0歳児〜5歳児までの子どもたちが日々集い、賑やかな声が園内に溢れています。

2019年4月1日より平安女学院大学附属幼稚園は、幼保連携型認定こども園「平安女学院大学附属こども園」としてスタートしました。開園に向けて2018年8月〜12月まで園舎の改修工事を行い、新しく乳児クラスの保育室を造り、園舎全体がこども園に見合うものに造り替えられました。工事期間中の園児の保育については大学2号館2階を借用し、園舎として改修して使用しました。その間は普段以上に大学の学生、教員、職員の方々と触れ合いが増えた豊かな

開園して間もなくの4月13日には、高槻市長をはじめ行政の方、衆議院議員、市議会議員、設計・施工の方、地域の方、近隣園の方、本園の保護者会、学院関係者にお集まりいただき、開園式を行いました。大岡チャプレンによる司式のもと礼拝に始まり、ご出席いただいた方より



平安女学院創立145周年記念募金

500万円以上のご寄付

山岡景一郎	1,000万円	千 玄室	500万円
-------	---------	------	-------

100万円以上のご寄付

株式会社亀田工務店	200万円	サンケイデザイン株式会社	200万円
北和建設株式会社	100万円	関根 秀治	100万円
竹村 肇	100万円	匿名希望寄付企業	総額 400万円

30万円～1,000円のご寄付

株式会社長村組	30万円	今岡 浩子	1万円	長谷川秀子	1万円
協栄ビル管理株式会社	30万円	植村 朝恵	1万円	長谷川和子	1万円
高崎 秀夫	20万円	上小鶴孝子	1万円	畑野 寿子	1万円
株式会社秋田工務店	20万円	浦田 正子	1万円	服部能里子	1万円
株式会社山田松香木店	20万円	浦口 久美	1万円	服部 建	1万円
新保 洋子	10万円	占部 愛子	1万円	久恒 惇子	1万円
竹田 睦子	10万円	櫻本 照代	1万円	日野 好子	1万円
中川ひとみ	10万円	太田 幸子	1万円	平松 淑子	1万円
三品 綾乃	10万円	大田 典子	1万円	平戸 梓	1万円
株式会社大垣書店	10万円	大日三智子	1万円	福島美和子	1万円
株式会社三宅建築事務所	10万円	小田垣桂子	1万円	福島 郁子	1万円
山岡 祥子	10万円	海生 禎子	1万円	細谷田津子	1万円
磯野真紀子	10万円	梶 恵子	1万円	松本美登利	1万円
谷口 吉弘	10万円	亀井 幸子	1万円	松谷由美子	1万円
毛利 憲一	10万円	北村 敏博	1万円	馬淵 ひさ	1万円
荒川 雄次	10万円	桐岡亜由美	1万円	三木 正博	1万円
黒井 いく	10万円	栗本 康代	1万円	宮地 和子	1万円
山岡 広和	10万円	黒原 壽子	1万円	村田 光子	1万円
今井千和世	10万円	後藤 茂代	1万円	森 希理恵	1万円
栗田 康文	10万円	鴻渡 幸子	1万円	山口多恵子	1万円
森 天宏	10万円	小林 朱實	1万円	山田 笙子	1万円
佐野 剛一	5万円	小室 昭子	1万円	山本 修士	1万円
豊田 香	5万円	近藤恵理子	1万円	湯之上美加	1万円
大和電設工業株式会社	5万円	齊藤 照子	1万円	吉岡 淑子	1万円
洛陽産業株式会社	5万円	阪口伊佐美	1万円	吉岡 誠次	1万円
下元 光明	5万円	阪田智恵美	1万円	吉野 美恵	1万円
清水 里美	5万円	志賀 博子	1万円	若野 弥生	1万円
君島 茂	5万円	志澤 康弘	1万円	和田 素実	1万円
井上 容子	5万円	柴田恵津子	1万円	匿名希望者	総額4万円
青木 幸子	3万円	信貴 君子	1万円	石黒 恵子	5千円
有田 能子	3万円	助田 尊子	1万円	岡部まさよ	5千円
井上 京子	3万円	高本 令子	1万円	小幡 恵子	5千円
今井 弘子	3万円	高見 益美	1万円	白岩千賀子	5千円
岩崎たか子	3万円	龍野 勝子	1万円	関 和子	5千円
上林千代子	3万円	田中 恵美	1万円	竹内 静子	5千円
桂 玲子	3万円	田原 節子	1万円	田中恵美子	5千円
門川 昌子	3万円	玉岡 典子	1万円	出宮佳代子	5千円
兼子 早苗	3万円	田和 浩子	1万円	出宮 民恵	5千円
小島 信子	3万円	土居登志子	1万円	寺本 栄子	5千円
手嶋三重子	3万円	戸川百合子	1万円	中川智代子	5千円
福井 恵子	3万円	中澤 敬子	1万円	深田 幸子	5千円
米田 和子	3万円	中村 孝美	1万円	福山真寿美	5千円
田中 泰子	2万5千円	長屋 悦子	1万円	保坂 真実	5千円
伊東由利子	2万円	中西 浩一	1万円	三好 慶子	5千円
鳴神 真理	2万円	西尾 要一	1万円	森田 康代	5千円
服部 和子	2万円	西澤 泰子	1万円	他村有紀美	2千円
山田美和子	2万円	西澤 詢子	1万円	野間まゆみ	2千円
吉田 健一	2万円	野村 敦子	1万円	卯ノ田直美	1千円
和田千重子	2万円	野本 春美	1万円	中高保護者120名	総額120万円
赤松みずづ	1万円	伴 不二子	1万円		

学校関係団体寄付	平安女学院校友会	1,000万円	平安女学院大学後援会	50万円
寄付実績 284件 計 42,350,000円				

(敬称略・2019年8月20日現在)

平安女学院創立145周年記念募金のご案内

学校法人平安女学院は、1875年(明治8年)に日本聖公会の要請で米国伝道局から派遣された宣教師ミス・エレン・G・エディにより、大阪の川口居留地に「エディの学校」として誕生して以来、キリスト教精神に基づいた教育を育み、2020年1月21日に145周年を迎えます。これもひとえに本法人を暖かく応援していただいた皆様のご支援とご指導の賜物と厚く御礼申し上げます。

私は3年前に神に召された家内に貴方なりの神への奉仕として苦しんでいる平安女学院のお手伝いをしなさいと言われ、2002年6月から学院運営に参加し、2003年4月より、理事長として今日まで懸命に努めて参りました。その間、大変な時期からのスタートから、ようやくここに来て学院運営も安定し、2016年度には中高校舎、2018年度には大学京都キャンパスの耐震改修工事を実施する等、教育環境の整備を進めているところであります。そのような時に、「私の遺産を貴方のやろうとしていることに使いなさい」との天の声を聞いたように思い、145周年記念募金を思い立ち、私も発起人として、目標の1割を寄付させていただきました。

また、皆様方にも、教育環境の整備を進めながら、学院財務の健全性を維持するため、ご理解を賜り、募金にご賛同くださいますよう謹んでお願い申し上げます。

2019 年

学校法人 平安女学院
理事長 山岡景一郎

1. 募金の目的及び使途

目的：平安女学院創立145周年記念募金

使途：平安女学院の学校校舎改修、設備更新による教育環境の改善・向上

2. 募集期間

2018年12月～2020年3月（今回は第二次募集2019年8月～2020年3月）

3. 募金目標額

1億円

4. 募金金額

卒業生等個人の皆様 1口 10,000円

5. 寄付者の方へのプレゼント

3万円以上のご寄付を賜りました方には、平安女学院写真集

「御所西乙女さんぽ」（120頁カラー 定価税込2,484円）をプレゼントいたします。

6. お申込方法

(1) 学院の145周年記念募金担当（TEL：075-414-8110）までご連絡ください。

(2) 担当では「払込取込票」をお送りさせていただきます。

(3) 「払込取込票」に必要な事項をご記入の上、最寄のゆうちょ銀行窓口にて送金手続きをお願いいたします。



2019年度 主なイベント

4月		10月	
1日	大 学 入学式	5日	学 院 日本ペンクラブ京都例会
2～3日	大 学 宿泊オリエンテーション	27日	大 学 平女祭&Seelフェア (京都キャンパス)
4～8日	学 院 有栖館 春の特別公開	29日～11月1日	中 学 長崎修学旅行
6日	こども園 入園式	11月	
8日	中 高 入学式	1～4日	学 院 有栖館 秋の特別公開
25日	中 高 イースター賛美礼拝	1～8日	高 校 ニュージーランド修学旅行
5月		2日	大 学 平女祭(高槻キャンパス)
17日	大 学 全学合同運動会	22日	大 学 アグネス・イルミネーション点灯式(京都)
6月		30日	学 院 日本おもてなし学会 総会・基調講演会
10日	中 高 体育祭	12月	
13日	こども園 花の日礼拝	5日	大 学 アグネス・イルミネーション(高槻)
7月		7日	大 学 クリスマス・カンタータ
8～23日	高 校 立命館コース2年生 研修旅行	14日	中 高 クリスマス・カンタータ
18日～8月1日	中 高 セント・ウルスラ校訪問交流	1月	
21日・28日	大 学 夏休み子ども教室 (子ども教育学部)	21日	学 院 創立記念式典
31日～8月22日	学 院 免許状更新講習	2月	
8月			大 学 海外キッズイングリッシュ研修 (子ども教育学部)
26～27日	大 学 リーダーズキャンプ	29日	高 校 高校 卒業式
31日	こども園 アグネス夏祭	3月	
9月		14日	中 学 中学 卒業式
2～8日	大 学 観光フィールドワーク<国内> (国際観光学部)	14日	こども園 こども園 卒園式
3～10日	大 学 観光フィールドワーク<海外> (国際観光学部)	18日	大 学 大学 卒業式
6日・7日	中 高 文化祭		

校友会だより



2019年9月21日、今年度で10回目を迎えました校友会京都支部会は「聖アグネス教会での礼拝とランチ」を開催しました。参加者40名と多くの方に集まりいただき、懐かしい聖アグネス教会にて大岡左代子チャプレンによる礼拝と有意義なお話を伺いました。礼拝後は、ザ・パレスサイドホテルに場所を移し、美味しいランチをいただきながら、お隣になった校友の方と語らいつつ、楽しい時間を過ごすことができました。



カバー
ストーリー
Agnes
vol.74

2018年度に行った耐震改修工事と、それに伴った校舎のリニューアル工事が無事に終わりました。工事では学生ホールの新設や女子トイレが一新されたほか、校舎の壁面とロータリーのタイルもリニューアル。レンガと白い石畳が美しい校舎へと生まれ変わりました。また、ロータリーからカフェへと続く階段はウッドデッキ調になり、春や秋などの過ごしやすい季節には、ウッドデッキに置かれたテーブルに座って楽しく談笑する学生の姿も多くみられます。

